

ヒアルロン酸

- 内容量：12 g
- 形状：粉末
- 価格：8,800 円(税込 9,504 円)
- お召し上がり方：
「コンドロイチン」と一緒にお摂りください。
- 【栄養成分表示：12g 当たり】(推定値)
*ヒアルロン酸 …………… 12g



ヒアルロン酸は水を 1200 倍吸収する

「ヒアルロン酸」は僅か1gで水 6000 mlの保水力をもつ優れた保湿成分です。ヒアルロン酸が減少すると、カサカサになってハリがなくなり、キメが荒くなります。ヒアルロン酸は熱に弱く約 40 度で破壊されます。

肌をみずみずしく

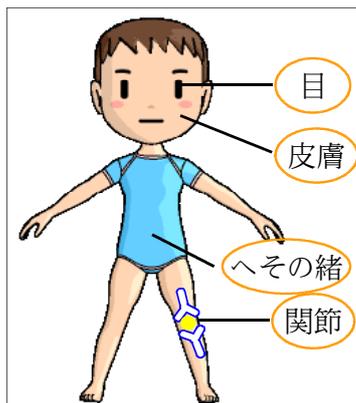
ヒアルロン酸は、お肌の表皮と真皮の両方に存在していて、**角質層の細胞間をうめる役割**を果たしています。



体中のヒアルロン酸は、老化とともに減少していきます。ヒアルロン酸が豊富な皮膚ほど柔軟性が高く、たとえば大人の皮膚に含まれるヒアルロン酸の量は、**赤ちゃんの20分の1**です。そこで、ヒアルロン酸を補うことで、水分の保持能力を高め、コラーゲンとエラスチンの損傷を防ぎ、**肌の張り**と**弾力**を保ちます。又、乾燥で保湿力が低下した**肌をみずみずしく**保ちます。

ヒアルロン酸が含まれる部位

ヒアルロン酸は、脊椎動物の「**結合組織**」に普遍的に存在し、特に濃度が高い部位は、**皮膚、へその緒(臍帯)、関節液、目の硝子体**などです。



皮膚には体内で最も多くヒアルロン酸が含まれ(ヒト成人で平均7~8g、体全体の約 50%を占める)、真皮(約 0.5mg/g 湿重量)と表皮(約 0.1mg/g)の両方に存在します。体内のヒアルロン酸は、成長とともに減少します。



● 眼の「**硝子体**」に多く含まれ、緩衝作用や組織形状の維持(目の形の維持)をしています。更に、**目の乾燥**を防ぎます。



● **細胞と細胞の間に多く存在**して、水分の保持やクッションのような役割で細胞を守っています。更に、最近の研究では細胞が壊された時や、強い「**炎症**」が起こった時に「**細胞を修復**」する機能があるとされています。従って、手術後などの回復を早めるとされています。

関節で働くヒアルロン酸

ヒアルロン酸は「**関節液**」、「**関節軟骨**」などに含まれ、潤滑作用(骨と骨の間の滑りを良くする)や緩衝作用(クッション)など、関節の動きを良くする働きをしています。



ヒアルロン酸が生体内で広く「**炎症**」抑制に関与しているといわれています。

国内で、膝の痛みを感じている(リウマチ因子を除く)15名(平均年齢 58 歳)を被験者とし、ヒアルロン酸摂取 240mg/日、12 週間にわたる試験を実施した。その結果、投与前に比べ、投与 4、8、12 週間後において有意なスコアの改善が報告されています。



こんな方にお勧めします

- *しわ・たるみが心配な年齢の方
- *関節が弱い・高齢で薬多用な方
- *目が乾く方・粘膜の弱い方
- *術後の速やかな回復が必要な方